

令和7年度 第四中学校グランドデザイン

(1) 校訓 自主協和

(2) 教育目標 豊かな心を持ち 積極的にやり抜く生徒

(3) 目指す生徒像 **だ い し** の生徒+② ~ **だ** 大夢を抱く生徒 **い** いい関係をつくる生徒 **し** 思考し学び合う生徒
① 自信の付く事実を積み上げる生徒 **②** かけがえのない自分、どう生きるかを問い続ける生徒



地域とともに歩む学校づくりの推進

A 生徒の具体的な姿で評価される教育活動の推進

- ・学校の内外を問わず、よい挨拶ができる。
- ・活発にボランティア活動に取り組む。
- ・地域行事に積極的に参加する。

B 地域組織を活かした教育活動の推進

- ・地域・家庭と一体となった挨拶運動の機運を醸成する。
- ・地域とともに取り組める活動等を工夫する。
- ・自治会、地域コミュニティ等、地域の関係団体との情報連携を密にする。



学習意欲・学力の向上 ～思考を深め発信できる生徒～	豊かな心の教育 ～いい関係をつくる生徒～	健康・体力の増進 ～生活設計力を身に付ける生徒～	小中一貫教育の推進 ～9年間のつながりで育つ生徒～
<p>重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善(互いに関わり合い高め合う授業と家庭学習の充実) ○キャリア教育の充実 <p>本年度の達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに関わり合うことで学びを深めることができる生徒を育成する。 ・家庭学習の習慣が身に付いた生徒を育成する。 ・将来に向けて主体的に学習する生徒を育成する。 <p>成果</p> <p><成果のみとりと評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習内容が理解できる」と回答する生徒が80%を超える。また、「仲間との活動に積極的に参加し学力が高まった」と回答する生徒が80%を超える。 ・「LIFEを活用し、計画通りに家庭学習を進めることができた」と回答する生徒と保護者がそれぞれ80%を超える。 ・「将来の夢や希望をもっている」と回答する生徒が80%を超える。 <p>達成のための生徒の活動(教育活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協同的な学び合う授業に積極的に参加する。 ・家庭学習の習慣を身に付けるため、授業での振り返り活動を行う。 ・学年や学級で家庭学習の取り組み方について指導する。 ・総合的な学習の時間や生き方授業を通して、自分の将来について考える。 <p>達成のための職員の活動(運営活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善 ・「三条市授業スタンダード」を意識した授業改善に取り組む。特に「スタート・ラーニング」は全教科共通実践とする。 ・学習課題を生徒から引き出すとともに、まとめと振り返りのある授業を展開する。 ・単元及び1時間の授業における課題の明示・振り返り活動を行う。 ○キャリア教育の重視 ・総合的な学習の時間との関連性をもたせた各教科の学習活動を実践する。 ・学ぶ意義や将来についてキャリアパスポートを活用して考えを深めさせる。 	<p>重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自尊心と自律心の耕しと規範意識の向上 ○自己有用感もてる生徒会活動の実践 ○思いやりをもち、他のために進んで活動する態度の育成 <p>本年度の達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らを大切にするとともに、他を思いやることのできる生徒を育成する。 ・ルールを守り、正しい判断ができる生徒を育成する。 ・校内外で、誰とでも爽やかな気持ちのよいあいさつができる生徒を育成する。 <p>成果</p> <p><成果のみとりと評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校が落ち着いて居心地がよく、安全に生活できる場である」と回答する生徒が80%を超える。 ・四つ葉学園での「あいさつ運動」によって、生徒が「すすんであいさつができた」と回答する生徒が80%を超える。 <p>達成のための生徒の活動(教育活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育、特別活動など様々な場面で話し合い活動を行う。 ・生徒会を中心とするあいさつ運動を推進する。 ・諸活動に真剣に取り組み、礼儀等を身に付ける。 <p>達成のための職員の活動(運営活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成感と自己有用感を強くもつことのできる生徒会活動を支援する。 ・各種アンケートや教育相談等を有効に活用し、いじめ・不登校の早期発見・早期解決を図る。 ・WEBQUアンケートの分析結果を生かして授業や学級経営を行う。 ・人権教育、同和教育を推進する。 	<p>重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上 ○基本的な生活習慣の向上 ○望ましい食習慣の形成 <p>本年度の達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の体力を知り、バランスのとれた体力の向上に向けて意欲的に取り組む生徒を育成する。 ・食事や睡眠、メディア使用などの基本的な生活習慣の改善に意欲的に取り組む生徒を育成する。 <p>成果</p> <p><成果のみとりと評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年男女とも、体力テストで昨年度より5種目以上で上回る。(8種目中) ・自己の体力を意識し、向上に向け取り組んだ生徒が80%以上を超える。 ・健康に留意して学校生活を送っている生徒が80%以上を超える。 <p>達成のための生徒の活動(教育活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上に向け、自らの課題を把握し、トレーニング方法を工夫して実践する。 ・保健委員会を中心に、他の委員会と連携を図りながら健康的な生活習慣づくりに向けた取組を実践する。 <p>達成のための職員の活動(運営活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの分析結果を受け、個々の生徒へ課題を明確に提示する。 ・重点種目のトレーニング方法についての共通理解を図り、継続した指導を行う。 ・生活習慣の実態把握と分析を継続する。 ・保健だより等を通し、生徒および保護者への啓発活動を行う。 ・学園学校保健委員会を開催し、地域・保護者へ啓発活動を行う。 	<p>重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗り入れ授業の充実 ○生活習慣の形成 ○人間関係力の伸長 <p>本年度の達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間のカリキュラムを見通した授業により、自ら学ぶ生徒を育成する。 ・自らの生活習慣を見つめ、進んで健康づくりと体力づくりをする子どもを育成する。 ・自ら挨拶し、関わりをもとうとする子どもを育成する。 <p>成果</p> <p><成果のみとりと評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。」 ・「友達や先生(学校)、家庭、地域で進んであいさつができる。」 ・起床時刻・就寝時刻・メディア利用時間を意識した生活を送っている。」 ・「他の学年や小学校の人たちと活動することで、自分が役立っていると感じる。」 <p>以上の項目で肯定的評価を行う生徒が80%を超える。</p> <p>達成のための生徒の活動(教育活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一緒に実施する家庭学習強調週間を通して、家庭学習を毎日行う。 ・小中一緒に実施する健康生活向上週間を通して、規則正しい生活習慣が身につくよう実践する。 ・小中一緒に実施するあいさつ運動を通して、進んであいさつを行う。 ・授業や生徒会活動、小学生との交流活動、地域行事等、他とかわる機会に積極的に参加する。 <p>達成のための職員の活動(運営活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間の学習のつながりを意識して授業を行う。 ・四つ葉学園家庭学習強調週間の計画・実施・振り返りを確実に進行。 ・四つ葉学園健康生活向上週間の計画・実施・振り返りを確実に進行。 ・四つ葉学園あいさつ運動の計画・実施・振り返りを確実に進行。